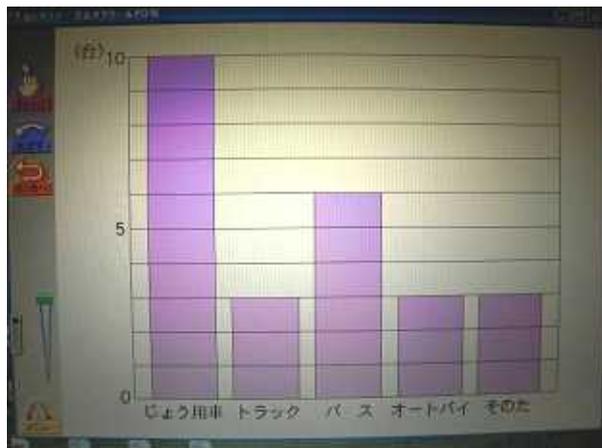
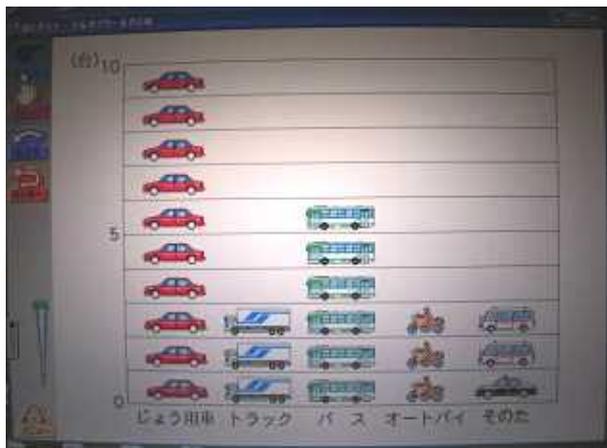


<p>単元(教材)名</p>	<p>ぼうグラフと表 (3年)</p>	
<p>学習目標</p>	<p>自動車の台数を同じ種類ごとに分ける活動を通して、「正」の字を用いれば落ちや重なりなく整理できることに気付き、その結果を項目の意味を明らかにして表に表すことができる。</p>	
<p>メディア活用の意義</p>	<p>《コンテンツの概要》 さんすうワールドの「ぼうグラフと表」の単元を使用。簡単な操作でスピードを変えたり、途中で止めたりすることができる。また、何度も繰り返し操作でき、問題提示以外の場面でも使用できる。 《使用目的》 時間の経過とともに通り過ぎていってしまう問題場면을提示することで、記憶に頼ることの難しさを実感し、整理の仕方を工夫することにつなげていくため。</p>	
<p>学習内容・活動の実際</p>	<p>評価と指導・援助</p>	<p>メディア利用と環境</p>
<p>1. 確かな課題をもつ。 問題(1) 午前9時から9時20分までに学校の前を通ったいろいろな自動車を調べています。どんな自動車が、それぞれ何台通ったでしょう。 ・どんな自動車が通るのかな。 ・乗用車が多そうだよ。 通った自動車の台数がよくわかるようにするために、どうすればよいか考えよう。 2. 自分の考えをもつ。 ・1, 2, 3, と1台ずつ数える。 ・印をつけながら数える。 ・表にする。 3. 考え方の交流を行う。 ・「正」の字を使って調べていく。 4. 問題(2)を提示する。 問題(2) 調べた自動車の台数を表にわかりやすくまとめよう。 ・台数の少ないものはまとめて「そのた」とする。 ・合計欄をつくり、自動車全部の台数を確認する。 5. 本時のまとめをする。 「正」の字を使うとすばやく調べられ、表に整理するとわかりやすい。</p>	<p>何種類かの自動車 が何台通るのかを 短時間で判断するにはどうすればよいか考えていけるようにする。 いろいろな方法で自動車の台数を調べる活動を位置付ける。 もう一度、動画を提示し、記録の確かめをさせる。 問題(2)を通して、台数の少ないものや合計についてのまとめ方の工夫に気付かせる。 時間とともに変化する場面を整理することができる。 (数学的な見方・考え方)</p>	<p>・教室環境 普通教室 ・視聴覚機器 コンピューター1台 プロジェクター 簡易スクリーン ・ソフト さんすうワールド</p>   
<p>授業の成果と今後の課題</p>	<p>・時間経過とともに刻々と変化する資料を提示することで、再度確認することができた。 ・次時でもさんすうワールドを用い、整理したことを絵グラフや棒グラフにつなげて提示することができた。</p>	

・次時で続きとして、絵グラフと棒グラフをさんすうワールドで提示した。



・本単元では、実物投影機も利用し、子どもが書いたグラフを大きく映し出して説明に使った。

